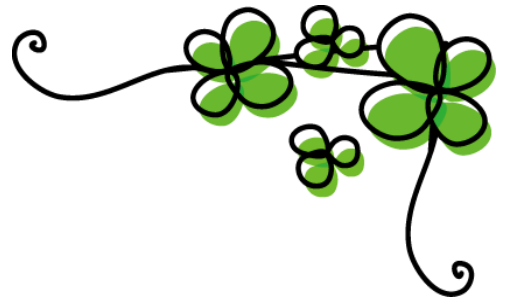
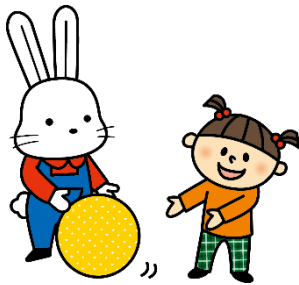
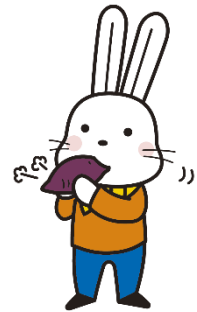




福島市

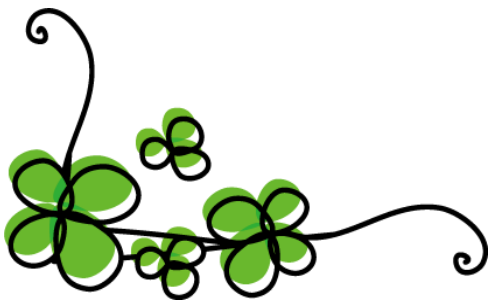
ふくしまサポートシート

～ 楽しく充実した人生を願って ～



福 島 市

福島市教育委員会





<もくじ>

1	はじめに	ページ 1
2	プロフィール	3
3	これまでのあゆみ	4
4	現在の様子	8
5	配慮の工夫、つなげたい情報	1 2





は じ め に

福島市では、幼児教育・保育施設（以下、保育施設等）に通っているお子さんが小学校・義務教育学校・特別支援学校（以下、小学校等）に入学後も、そして、その後中学校・特別支援学校中学部へ進学後も、楽しく充実した学校生活を送ることができるよう、「ふくしまサポートシート」を作成しました。

このサポートシートは、お子さんのこれまでの成長の様子、生活や学習の中で行ってきた手助けなどを書き込むシートです。障がいのある人もない人もお使いいただけるものです。

お子さんが健やかに成長し続けるためのツールとして、このサポートシートをぜひご活用ください。

（１）サポートシートを活用するメリット



- 周りの人にお子さんの様子や保護者の思いを分かってもらうことで、お子さんに合った対応と一緒に考えることができます。また、得意なこと、苦手なことを整理することができます。保育施設等への入園や、小中学校等への入学・進学時など、次のステージへ進む際に、お子さんに関する情報を的確に伝えることができます。
- これまでの記録などを整理しておくことで、生活場面が変わったり、いろいろな機関に相談をしたりする際に、何度も同じ説明を繰り返す負担を軽減することができます。
- 一時保育や災害時の避難所等において、普段の状況を知る人が周囲にいないときにも、必要な配慮について伝えやすくなります。

（２）サポートシートを使う場面



- 入学・進級・進学等、関わる人が変わるとき
- 医療機関受診の際、福祉サービスの利用のとき
- 普段の状況を知る人が周囲にいないとき（一時保育や災害時の避難所など）





(3) サポートシートの使い方



- 保護者の方が記録・保管していきます。
- 全ての項目を記入する必要はありません。どのように書けばよいか迷った時は、幼児教育・保育施設等や学校等などの周りの人に相談しながら一緒に作成してみましょう。
- 相談先とお子さんの情報を共有する場合、必要なシートのコピーを手渡すなどの活用の仕方もあります。
- 入学・進級した際に、担任の先生等にシートを提出して確認してもらいましょう。

(4) サポートシート作成のポイント



- お子さんの苦手なところだけでなく、得意なことや楽しんで取り組めることに目を向けることが大切です。
- 「うちの子は、こんな子です」、「〇〇があれば、□□ができます」とわかってもらえるようなシートを作ってみましょう。
- お子さんの力を引き出すツールとして活用されることが望まれます。
- お子さんに関する学校や保健・福祉・医療機関からの資料を参考にすることもできます。

(5) 関係者の皆さまへ(お願い)



- 記載されている情報については、プライバシーを厳守し、取り扱いには十分注意してください。
- 情報を複写、転載するなどの場合は、必ず保護者の同意を得て活用してください。
- 保護者の方が中心に作成することにはなっていますが、内容によっては保育施設・学校等の周りの人のアドバイスが必要となることがあります。その時はぜひ、書く内容や書き方等をアドバイスくださるようお願いいたします。
- 入学、進級、進学した際、保護者の方から受け取り確認した時は、最後のページにある確認欄の記入をお願いいたします。





プロフィール



記入日:令和 年 月 日

記入者: (続柄)

●基本情報

ふりがな		性別			年齢
本人の名前		男・女	生年月日	年 月 日	
ふりがな		続柄	ふりがな		続柄
保護者① 氏名			保護者② 氏名		
緊急連絡先 氏名		続柄	電話番号	— —	
住所／電話 ①	〒 (年 月～ 年 月) 電話番号()				
住所／電話 ②	〒 (年 月～ 年 月) 電話番号()				
住所／電話 ③	〒 (年 月～ 年 月) 電話番号()				

●家族の状況

氏 名	性別	続柄	生年月日	同居 の別	備 考 (職業、健康状態など)
	男・女			同・別	
	男・女			同・別	
	男・女			同・別	
	男・女			同・別	
	男・女			同・別	



●これまでの通園や診療の履歴

ふりがな			男・女	生年月日	年 月 日
本人の名前					
年代	保健センター、役所、 保育所・幼稚園、相談 支援事業所、通所支援 事業所、親の会など 機関名	相談日 担当者	相談内容や支援内容 (乳幼児健診の結果なども含めて) ※スペースが足りない場合は「追加様式」をお使い ください	医療機関 (名称・ 診療科 ・主治医)	
0 ～ 2 歳					
3 ～ 5 歳(保 育 所・ 幼 稚 園)					

年代	小・中・高等学校等 における在籍クラス (通常・特別支援・通級 など)	相談支援事業所、利用し ている福祉サービス	相談内容や支援内容、状況など ※スペースが足りない場合は「追加様式」 をお使いください	医療機関 (名称・診療科 ・主治医)
	名称・在籍	名称・担当者		
小学校等				
中学校等				
高等学校等				
大学・専修 学校等	(学科・専攻等)			





現在の様子



保護者から

()歳の様子(令和 年 月 日現在)

特に好きな遊び、 スポーツ、趣味	
得意なこと、 得意なお手伝い、 作業等	
本人が喜ぶほめ 方・コミュニケーション方法	
嫌いなことや苦 手なこと	
できたらいいな と思う目標	できたこと(一部でもできたら書きましょう) →

関係機関から

	所属名:	所属名:
特に好きな遊び、 スポーツ、趣味		
得意なこと、 得意なお手伝い、 作業等		
本人が喜ぶほめ 方・コミュニケーション方法		
嫌いなことや苦 手なこと		
集団でのようす (ルール・マナー配慮点)		



●手帳 あり ・ なし (どちらかに○をつけてください)
※ある方は記入してください

手帳の種類	障がいの程度、等級	交付年月日	次回判定、有効期限年月日
療育・精神・身体 (※取得手帳に○)			



●医療、衣食住などにおいて配慮が必要なこと

①医療に関すること	無 ・ 有	病気など (内容)	
定期通院			
くすり	無 ・ 有	くすり名()	飲ませ方の工夫()
②アレルギー	無 ・ 有	食物・薬物・その他	緊急時の対応方法
③感覚の感じ方	配慮 不要 ・要	苦手な感覚、又は、気づきにくい感覚 (大きな音・肌触り・手の汚れ・におい・怖く感じるもの・光・温度・偏食 痛み・ぶつかっても気づきにくい・その他())	
④安全面 (社会参加を妨げる行動)	配慮 不要 ・要	危険回避や事故予防 内容	
⑤制限が必要な行動	配慮 不要 ・要	活動制限(内容)	食事制限(内容)
⑥日常生活動作	配慮 不要 ・要	食事・衣類や着替え・排泄・入浴・移動・作業	
⑦心理的な安定 (空間、居場所)	配慮 不要 ・要		
⑧学習と休憩時間の 過ごし方	配慮 不要 ・要	配慮や工夫していること	
⑨その他、配慮して ほしいこと			

●コミュニケーションの取り方

声がけする時の配慮 (こちらから指示する時、 本人の答えを聞きたい時) 配慮を要する項目 の番号に○を記入 (いくつでも)	特になし 必要 1.声の大きさに注意してほしい 2.短い言葉で言ってほしい 3.絵や写真、文字で示してほしい 4.予告をしてほしい 5.選択肢を準備してほしい 6.「ダメ」だけでなく、してほしい行動を具体的に言ってほしい 7.その他
本人の答え方の特徴 該当する項目の 番号に○を記入 (いくつでも)	特になし あり 1.はい、いいえが言葉で言えない 2.要求を言葉で言えない 3.困ったことを言葉で言えない 4.答えるまでに時間がかかる 5.目(視線)を合わせられない 6.返答に困ると沈黙してしまう 7.不安になると話し続ける 8.相手のことを気遣えず話し続けてしまう 9.カード・サイン(身振り)を使用する 10.その他

●本人が困っている時の様子やその対応「こうすれば大丈夫です」

※「配慮の工夫など、つなげたい情報」のシートを使っても便利です。

困ったり不快に感じる場面 (苦手なこと) 該当する項目の番号に○を記入 (いくつでも)	1.急な予定の変更のとき 2.周りの音が気になるとき(場面: 3.急に話しかけられたとき 4.痛みや不快があるとき 5.返答に困る質問をされたとき 6.自由な時間など、今すべきことがわからないとき 7.自分の意見が通らない時 8.その他
困ったり不快に感じる場合に とりやすい行動 該当する項目の番号に○を記入 (いくつでも)	1.かんしゃくをおこす 2.動けなくなる・黙ってしまう 3.大きな声をあげる(ひとりごとを言う) 4.一方的に話す 5.走りまわる 6.テンションが(上がる・下がる) 7.こだわりが強くなる 8.ニヤニヤする 9.耳をふさぐ 10.自傷・他傷 11.その他
困ったり不快に感じる場合の 対応の仕方 該当する項目の番号に○を記入 (いくつでも)	1.静かな刺激の少ない所に移る 2.見守ってくれる人が寄り添う 3.落ち着いてから、穏やかな声でゆっくり話す 4.次の行動について、具体的な指示をする 5.身体の不調(気温の影響、空腹、疲労、痛みなど)があれば、休ませたり受診を勧める 6.気持ちを代弁してあげる 7.その他



●保護者から、小学校等・学童・放課後等デイサービスの先生に伝えておきたいこと

継続して ほしい配 慮、保護 者の思い など		日 付
------------------------------------	--	-----

●保護者から、中学校等の先生に伝えたいこと

継続して ほしい配 慮、保護 者の思い など		日 付
------------------------------------	--	-----



☆こんな配慮が助かります！

「こんな時、こうしたら上手くいくかも」という内容を書きましょう！

(周りの人といろいろな場面について情報交換しながら一緒に書きこんでいきましょう。)

こんな時って…	どんな理由かな？
実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)	

こんな時って…	どんな理由かな？
実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)	

こんな時って…	どんな理由かな？
実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)	



配慮の工夫、つなげたい情報



☆こんな配慮が助かります！

「こんな時、こうしたら上手くいくかも」という内容を書きましょう！

(周りの支援者といろいろな場面について情報交換しながら一緒に書きこんでいきましょう。)

こんな時って…	どんな理由かな？
実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)	

こんな時って…	どんな理由かな？
実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)	

こんな時って…	どんな理由かな？
実際にうまくいった方法など書き込んでいきましょう (記入日 令和 年 月 日)	

【使い方の流れ】(就学のタイミングの場合)

保護者がお子さんに関する情報を記入する。または、保育施設等の先生に相談し一緒に作成する。



シートの「現在の様子」について、担任の先生等にお子さんの情報を記入してもらう。



シートを返却してもらい、保護者が保管(持っている)する。



入学を予定している小学校等または、進級予定のクラスの担任の先生へ提出する(学校は提出後コピーなどをもって原本は保護者に返却してください)。

※提出する時期については、学校と保護者の方で相談してください。

- ◆ 小学校等入学のタイミングに限らず、乳幼児期や学校入学後に使い始める方も多くいます。使い始めたタイミングで、このシートをきっかけとして保護者と担任の先生とでお子さんのことについて話す機会を設けていただければと思います。
- ◆ 通所している児童発達支援事業所や放課後等デイサービスの方にも、施設での様子を記入してもらいましょう。

【確認欄】 ★見ました！★

年 度	年 月 日	所 属 等	確 認 者 名
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		
	/ /		

*入学、進級、進学した際など、先生等がシートを確認したらこの表にサインをしてください。

- ◆福島市ホームページからこのサポートシートをダウンロードすることもできます。
- ◆中学校卒業後以降も継続して進学・就労に関する情報を記録・管理できるように「～卒業後の進路に向けて～」を作成しました。福島市ホームページに掲載してありますのでご活用ください。

ふくしまサポートシート

令和7年3月改訂
(2025年3月改訂)

編集 障がい福祉課、こども家庭課、幼稚園・保育課
福島市教育委員会 教育研修課

お問い合わせ先

福島市健康福祉部 障がい福祉課
福島市五老内町 3 番1号
電話 024-525-3746